

陸上大会、お疲れさまでした。

君たちが全力でゴールに駆け込む姿。

最後まで最善を尽くそうとする、覚悟に光る眼差し。

皆さんの熱い心をもって競技する姿に、この唐桑中の校長で良かったと、本当に誇らしく感じていました。

感動を本当にありがとう。

そして、7月の県大会に出場が決まった、野球部、バドミントン部、特設相撲部、そして特設陸上部の皆さん。

ぜひ、県大会でも唐桑中の名前を心にまとして、最後まで全力を出しきる姿を見せてください。

さて、この大会をもって、自分が所属する部活動や陸上大会を終えた3年生の皆さん。本当にお疲れさまでした。君たちには、この区切りとなった機会に、次の目標を掲げてくれることを望みます。1年生と2年生は、新人大会をはじめとする次の目標に向け、先輩方が背中を示してくれた「唐中魂」を引継ぎ、ちょうど、今の2年生が座っていた場所で3年生がそうであったように、更に自分たちを磨き上げ、一生懸命に取り組んでくれることを期待しています。

1年生も2年生も、今の君たちのままで十分に素晴らしいです。でも、君たちがまだ見えていない世界を見つめ、失敗を繰り返し、実現してきた誇るべき3年生の背中をしっかりと心に刻み、その姿を目標に取り組んでくださいね。

さて、よく聞く言葉に、「努力は必ず報われる」という言葉があります。私はこの言葉は「正しい」と言えるし、「正しくない」とも言える、と考えています。

陸上大会の壮行式でお話ししましたが、「結果」に目が向いてしまうと、君たちの努力は、残念ながらほとんど報われません。相手と競い合い、勝ち負けを決める大会では、どうしても「勝つこと」や「優勝」を目標にすることが多いので、勝ったチーム以外は「努力したって報われない」「努力しても無駄」という結果になってしまいます。

一方、「取り組み方」に目が向くと、ほとんどの場合、努力は確実に報われます。

それはなぜか？

自分がそれまでに目標に向かって力を注いだ時間や取り組み方を、新しい次の自分の目標に生かせるからです。

おそらく、大会を終えた今、ほとんどの3年生はこんなことを感じているはずですよ。

「もっと真面目に基礎トレーニングをしておけばよかった」

「もっと自主トレをやっておけばよかった」

「もっと人からアドバイスをもらえばよかった」

いくら後悔をしても残念ながら私たちは過去には戻れない。だから前を向いて次の目標に向かうのです。

さて、君にとっての次の目標はどこに向かうのでしょうか？

多くの場合、卒業後の進路を見据えた「勉強」が大きな割合を占めるのではないのでしょうか。

では、部活動で言うところの「基礎トレ」とは勉強に当てはめると何だろう？

部活動で言うところの「真面目」とは、勉強ではどういうことを言うのだろうか？

「自主トレ」とは？

「人からのアドバイス」とは？

自分はこれからどうすれば良いだろう？

そこでまた気付くはずです。

それまでの努力を生かせるチャンスが訪れていることに。

「勉強を真面目にやろうとしていただけだろうか？」

「分からないところを先生に質問してきただけだろうか？」

「分かるまでしつこく友達に聞くことができただろうか？」

「テスト前の休み時間の使い方は、どうだっただろうか？」

「物事の終わり」は同時に「次の始まり」でもあります。

これまでの自分が積み上げた経験を次に生かそうと努めなければならない。でなければ、大会に向け、あれだけ費やした自分の時間がもったいない。そう思いませんか？

中にはこういう人がいるかもしれない。

「いや、校長先生、努力を次に生かそうとしても、どうすればいいか分かりません。」

そんなときは壮行式でお話しした「帰一（きいつ）」です。

「すべての物事は1（いち）に帰る」。

学校生活の1（いち）って何でしたっけ？

そうです。一生懸命です。

とにかく悩んだら自分なりに一生懸命に取り組むのです。

そういう経験を重ねていけば、いつかきっと、胸を張って人に言えるときが来るはずですよ。

「努力は必ず報われる」と。

目の前の結果にこだわってはダメ。人生は長い。君たちの人生は、あらためて、ここから始まるのです。

私は君たちが「努力は絶対に君の人生の大きな財産になるんだ。今の努力は必ず報われるよ。」と人に言える未来を信じています。これからの取り組みも、大いに期待しています。